

# 令和4年度 筑前町立中牟田小学校 学力向上プラン

【別紙様式例3】

■視点1-②

《中期目標》主体的に課題を追求し、根拠をもとに論理的に考え表現できる児童の育成  
 〈成果指標〉令和7年度の全国調査の標準化得点：国語103以上 算数103以上

《短期目標》習得した知識や技能を使って、課題を解決する子どもの育成  
 〈成果指標〉令和4年度の全国調査の標準化得点：国語105 算数105 以上  
 （令和5年度福岡県学力調査【中1】において、県標準化得点 国語105 数学105 以上）

■視点5

【家庭・関係機関との連携】

〈取組（指標）〉

- ⑤家庭学習とことん週間（小中連携）の実施（各学期1回ずつ）
- ※自学の例を詳しく示したり、選ばせたりする。

〈成果（指標）〉

- ◆児童アンケート「宿題やとことん週間で、自分で計画を立てて学習をしている」（3.0以上：4段階評定）

■視点2

【文章を書く力の育成】

〈取組（指標）〉

- ②一日一回、根拠（関連づけ、情報の活用）を明確にして書いたり、文字数や使う言葉などの条件を加えたりする場を設定する。（実施率80%）
- ④単元の終末の「振り返り」で、学んだことを生かしながら（根拠をもって）自分の考えをまとめて書く指導を実施する。（実施率80%）

〈成果（指標）〉児童アンケート

- ◆「考えを書くときにそう考えたわけも書いている」（3.0以上：4段階評定尺度）
- ◆「振り返りで、学んだことを生かしながら自分の考えをまとめている。」（3.0以上：4段階評定尺度）

【資料やデータから読み取る力の育成】

〈取組（指標）〉

- ③週に1回、資料やデータから分かることを読み取ったり、交流する場を設定する。（実施率80%）

〈成果（指標）〉児童アンケート

- ◆「資料から分かることを読み取ったり、交流したりすることができる。」（3.0以上：4段階評定尺度）

【授業づくり】

■視点4

【教員の意識・指導力の向上】

〈取組（指標）〉

- ⑥県学力調査及び全国学力テストを活用した校内研修の実施（年1回）
- ⑥児童による授業評価（各学期1回ずつ）
- ⑥小中合同研修会の実施（中学区合同研修会1回 学力向上推進協議会2回）

〈成果（指標）〉

- ◆児童による授業評価の評定平均（3.0以上：4段階評定尺度）
- ◆授業チェックリストの評定平均（3.0以上：4段階評定尺度）

■視点3

【学力基盤づくり】

〈取組（指標）〉①「プレテスト」を実施することで、問題に慣れる。（実施率80%）

- ①⑤個別に目標を立てて取り組む、各層に応じた「学びタイム」「スキルアップタイム(6年)」を実施する(学年に応じて、学期に1回、または、単元後：算数)

〈成果（指標）〉◆児童へのアンケート（「にがてな学習もあきらめない」3.0以上：4段階尺度）

■視点1-①

全国学力・学習状況調査、県学力調査及び児童生徒による授業評価等から見た「課題」

授業づくりや学力向上の取組に係る「要因」

全国（県）調査標準化得点	国語		算数		四分位層の県との差	国語				算数			
	R3	R4	R3	R4		A層	B層	C層	D層	A層	B層	C層	D層
	98.9		100			R3	-4.9	+1.7	+3.1	0	-7	+5.3	+8.8
				R4									

・国語も算数も、B層とC層の割合は全国より高く、A層の割合は低い。D層の割合は減少傾向にあるが、それぞれの層のつまずきに応じた支援を行うことが課題。  
 ・国語…2つ以上の条件をクリアしながら文章を書くこと。  
 ・算数…資料やデータからわかることを読み取ること。

質問紙調査等  
 ・全国学調質問紙「学んだことを生かしながら自分の考えをまとめたり、新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか。」（当てはまる：全国比-15.7%）  
 ・全国学調質問紙「自分で計画を立てて勉強していますか」（当てはまる：-13.58%）  
 ・授業チェック「振り返って、分かったこと、次にやりたいことを書く」（3.23：4段階評定尺度）

- ①各層に応じた学習問題の練習の場の不足
- ②条件に合わせて書く学習の場の不足
- ③資料やデータから分かることを読み取る学習の場の不足
- ④学んだことを生かしながら自分の考えをまとめたり、新しいものを作り出したりする活動の場の不足
- ⑤自分で計画を立てて勉強する経験の不足
- ⑥本校児童の学力の課題の把握・改善